

仲間とともに
その23

この日はスイーツを持ち寄っておしゃべりも。そのようすから仲の良さが伝わってきました

避難後、佐藤美喜子さん（関根・松塚）の手ほどきで一閑張を作るようになつた皆さん。都合を合わせて週に1度は集まります。会長の原田ヒサさん（深谷）は「生きがいね。皆で食事会や旅行に行つたりするのも楽しみ」といひ。佐藤キミノさん（大久保・外内）も「皆と友達になれたことが一番」と言ひます。純粋に物作りを楽しむ会ですが、「こんな物を作つてほしい」と頼まれたり、講習会を依頼されたりする」とい。筆字の達人、創作デザインの名人もいて、個性を活かした物作りを楽しんでいます。

活動データ

- 竹や木の編み組に和紙や布を貼り柿渋を塗って仕上げる「一閑張」を楽しんでいます。
- 松川第二応急仮設住宅の集会所で活動。借り上げ住宅等からも参加があります。
- 依頼を受け被災地や避難先で講習会も行つてきました。

2/6

昭和の「わらや」と新級

福島大学が村や市民団体と協力して開設した「ふるむと学級」。3月末までに五科目（裁縫・食物・歴史・方言・フィールドワーク）合わせて26回の授業を行ひます。

この日は松川第二応急仮設住宅の集会所で、高橋トク子さん（深谷）を講師に凍み餅作り

が行われました。用意された「おから餅（あらびき餅）」「ばんばつぱ餅」「もち草餅」は計千個。見事な手さばきで「うらに編み込まれてござました」。

凍み餅の味などを、手を休めることなく語り合い、当時を懐かしんだ皆さん。その生き生きとした表情が印象的でした。



「久しぶりだ」と言いつつも早くてまでいな仕事ぶり

昔の嫁さんは皆やつたんだよ。田仕事のいっぷくの時間なんかに食べたわね

何十年ぶりかな。昔は1俵も2俵もやつたの。しばらくぶりで楽しかったよ

菅野里子さん
(蕨平)

菅野ツメさん
(蕨泥)

表紙 再開した村の乳幼児健診

視力検査に使う「ランドルト環」を手に、何だか楽しそうだね。P.16の記事もご覧ください。



飯館村は「日本でも最も美しい村」連合に加盟しています。